



宮崎県特別支援教育研究連合 東臼杵南部ブロック部会



東臼杵南部ブロック部会では、毎年、日向ひまわり支援学校と地域の小・中学校の職員が集まって合同研修会を行っています。8月19日、日向ひまわり支援学校を会場に、支援学校、小・中学校合わせて73名と一緒に研修を行いました。



⇐ 日向ひまわり支援学校進路指導主事 武富憲子教諭から、支援学校の進路指導について、講話をしていただきました。

当校では、今春、高等部設置後初めての卒業生を送り出しました。主な制度、地域の関連機関や施設、進路相談やその後のフォロー等の説明がありました。

将来の自立を考えた指導について、日常の関わり一つ一つを見直して、積み重ねていくことの大切さを改めて学ぶことができました。

⇒ 小・中学校の職員は、日向ひまわり支援学校の校内を見学しました。

生活や社会における自立を考慮した指導内容や校内の施設について説明を受け、前半の講座と結びつけながら、見学することができました。

限られた学校施設でありながら、あいさつ、身だしなみなど基本的なことから、職場での言葉遣い、仕事の丁寧さ、仲間との協力、安全面や衛生面の習慣等、より実践的な力を身に付ける内容まで、指導内容や施設・設備にさまざまな工夫がされていました。



↑ 日向ひまわり支援学校の先生方の教材を集めた教材展

教材展・作品展には、児童生徒の実態に応じた教材や、個性が感じられる数々の作品が展示されていました。

見学者は実際に触れてみて、教材作りのヒントを得ることができました。



↑ 日向ひまわり支援学校の児童生徒の色鮮やかな作品展